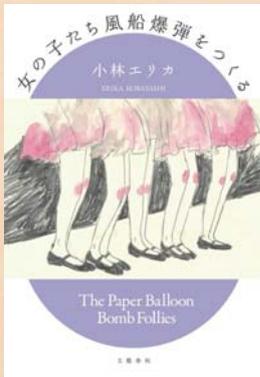




# 私のいちおし本 「女の子たち風船爆弾をつくる」

小林 エリカ 著



選者：文化センター 多田 愛美

今年、戦後80年の節目を迎える日本。しかし、海外では、未だ続く戦争によって苦しめられている国々が後を絶ちません。その余波は、わたしたちの国にも影響を及ぼし、世界情勢は今まで以上に不安視されています。

先の大戦では、全ての国民が戦争への参加を余儀なくされていました。それはまだ、未成年である、女の子たちも例外ではありませんでした。

この作品では、太平洋戦争末期、女学生たちが秘密裏に作られていた兵器「風船爆弾」について記されています。製造場所も日本各地に設けられ、その中に、有名な東京宝塚劇場も含まれていました。

戦場へも行かず、兵士でもない、戦いから遠く離れた国内に留まっていたはずの女の子たちが、いつの間にか戦争の当事者として巻き込まれていったのです。その様子が、かつての「女の子たち」の言葉によって綴られています。

多くの命や尊厳を奪われ、決して、「自分に関係ない」と言えない泥沼に引きずり込むのが戦争であると、そう伝えてくれる1冊です。

## 今月の新刊

### 【銀河アリーナ図書室】

【一般】

#### 母の旅立ち

尾崎 英子 著

底抜けに明るいがトラブルメーカーの母に残された時間はあと1ヶ月。京都で訪問医療のクリニックを開業しているプロ医の次女による仕切りのもと、母を在宅で看取り、家族葬で送ることになり…。四姉妹+父で見送った記録。



### 【文化センター図書室】

【一般】

#### 夢燈籠 野望の満州

伊東 潤 著

関東大震災や二・二六事件に遭遇し、石原莞爾らと出会いながら成長した坂田留吉。ある日、陸軍士官の長男が、満州で行方不明との報せを受け、新聞記者として満州に渡るが…。



【児童】

#### いっしょにかえていい?

にしだ のぶまさ 作

夕方、公園で遊んでいたこどもたちが家に帰っていく。遊具のパンダは他の遊具が止めるのも聞かず、ぴょんぴょんと公園の外に出てしまった。「ぼくもいっしょにかえていい?」と、おとこのこの家についていくと…。



【児童】

#### あいことばはあらしのよるに

きむら ゆういち 作/あべ弘士 絵

食うもの、食われるものの壁を越えておだやかに暮らしているオオカミのガブとヤギのメイ。仲良しだけど、お互い隠している秘密があるようで…。新しいともだちを得て、新しい関係をつくる「新あらしのよるに」シリーズ。



その他の新刊

#### 【一般】ほどよく孤独に生きてみる

藤井 英子 著

#### 【児童】まてないの

ヨシタケシンスケ 作

その他の新刊

#### 【一般】令和型いじめ解決マップ ゼロからわかる予防と対応ガイド

千葉 孝司 著

#### 【児童】海あそびのやくそく

佐藤 繁一 監修

### ～「いきいき・のびのび・おはなし会」のお知らせ～

日時：8月7日(木) 10:00 から(1時間程度)

場所：銀河アリーナ 2階小ホール

子どもから、ご年配の方まで参加は自由です。除籍雑誌などの無料配布もあります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

### 文化センター図書室からのお知らせ ◎ふれあい緑陰読書会◎

・期日 令和7年7月30日(水) ・時間 10:00～11:00

・場所 丸岡公園(雨天時は、肝付町文化センター)

☆絵本や紙芝居、大型作品の読み聞かせを行います。お気軽にお越しください。(※屋外開催の場合は、水分補給ができるよう、水筒やお飲み物をご持参ください)